

大きなおはなし会



「人形劇 赤ずきん」ちゅうりっぷの会

ちゅうりっぷの会

「ちゅうりっぷの会」は、町がブックスタート事業を開始した事をきっかけに始まったボランティアグループです。赤ちゃんのためのお話を始めて今年で16年目を迎えました。

本の読み語りだけでなく、パネルシアターや人形劇、エプロンシアターなど様々な演目を用意し、月に1回のお話会で集まってくれるお母さんや赤ちゃんに楽しんでいただけています。

立科町の宝である子ども達の心にしみ込むお話をこれからも明るく元気いっぱい届けていきます。毎月最終水曜日に公民館でお待ちしています！

おはなし会



立科小学校3年2組有志のみなさん

大きなおはなし会全体発表

私達の町には、こんな素敵な仲間がいるのをご存じですか？

- 赤ちゃんに、お話ししている『ちゅうりっぷの会』
- 小学校低学年に、お話ししている『お話バスケット』
- 小学校高学年に、お話ししている『ふれあい読書』

そして教育委員会の職員の皆さん。

この四つの会が一つになり「大きなおはなし会」の輪が出来ました。

今年で5年目を迎え、「花咲爺さん」「ねずみのすもう」「こぶとりじいさん」「おむすびころりん」と、日本昔話シリーズを劇化して発表してきました。

「むかーし。むかし」で始まる、何とも素朴で温かいトーン。

このようなことを、子どものうちから体験することによって、より人間らしい心が育ち、人の喜びや悲しみを自分のことのように思える想像力が養われます。

うれしい時は飛び上がって喜び、悲しいときは声をあげて泣く。

—そんな素朴な感動を、いつまでも忘れてほしくないものです。そして、この「大きなおはなし会」がこれからもずーっと続けていけたら…。



「おむすびころりん」

